

登録コード	E7218200	開講年度	2026		
授業科目	スキー実習				担当教員 橋本 政晴 他
英文授業名	Ski Training				副担当 瀧 直也・藤田 育郎・大木 雄太
単位数	1	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室		授業形態	実技	遠隔授業科目	
備考					
信大コンピテンシー	該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ				
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				集団でスキー実習を実施する際のマナーやルールを取得する。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				スキーの技能・技術を習得し、その指導のための専門的な知識を習得する。
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	3泊4日の校外実習とする。 技能レベル別に等質集団をつくり、班別の実習とする。 班により講習内容は若干異なるが、多くのゲレンデでのスキー実践を通してスキー技能の向上を図る。 引率指導の留意点を適宜指導し受講者が将来自ら引率指導するための基礎作りをする。				
(5)授業計画	<事前指導(学内)> ガイダンス、実習にあたっての留意事項等 <校外実習> 【1日目】 13:00-16:30 道具の調整、班分けのための技能のチェック、スキー場の把握(雪質、斜度、リフトの位置や連絡、迂回路等) 19:00-21:00 ナイター練習(各自課題を持ての自由練習、適宜教員が指導) 21:30-22:00 ミーティング(技能の確認、ビデオ観察等) 【2日目】 07:00-07:30 ストレッチ等 09:00-12:30 滑りの基本(移動、ずらし、ターン、板の振り等) 14:00-17:00 滑りの基本と発展(板にかかる圧力と浮力の調整等) 19:00-21:00 ナイター練習 21:30-22:00 ミーティング(技能の確認、ビデオ観察等) 【3日目】 07:00-07:30 ストレッチ等 09:00-12:30 滑りの応用(様々な斜面への対応) 14:00-17:00 滑りの応用(様々な斜面への対応) 19:00-21:00 ナイター練習 21:30-22:00 ミーティング(技能の確認、ビデオ観察等) 【4日目】 07:00-07:30 ストレッチ等 09:00-13:00 最終滑走(滑りの総復習)				
(6)成績評価の方法	受講態度(意欲、技術理解度:30%)、技能の到達度(20%)、集団行動における規律等遵守(20%)、授業参加度(30%)により評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。				
(7)成績評価の基準	的確な集団行動が出来(時間等の遵守等)、4日間の受講に全て参加し、卓越した技能を示した場合秀評価とする。的確な集団行動が出来、4日間の受講に全て参加し、優れた技能を示した場合優評価とする。技能レベルにかかわらず、ケガや体調不良等で全ての受講機会に参加できなかった場合は、良評価以下とする。				
(8)事前事後学習の内容	事前指導の後、校外実習前にスキーに関する参考書等でスキー技術について予習しておくこと。校外実習中、各講習時間帯の最後に自由練習時間を設ける。また、ナイター練習は基本的に自由練習(教員は適宜指導)とするので、各自の課題を持ちながら復習練習すること。				
(9)履修上の注意	ホテルとの対応(宿泊人数等の確認)があるので、ケガや病気等で校外実習に参加できなくなった場合は速やかに連絡すること。履修予定者は体調等に留意し、校外実習に参加できるようにすること。団体行動であるので、色々な場面で時間を遵守すること。とくに、出発日の集合時間には絶対に遅れないこと。とくにスキー経験の少ない者は、本実習で学んだことを生かしながら、その後の研鑽についても努力すること				
(10)質問、相談への対応及び連絡先	メール連絡で対応する。				
【教科書】	指定なし				
【参考文献】	指定なし				